野生生物共生センターの4つの機能

野生動物を「知る」

❶野生生物の調査研究

野生動物に対する放射性物質の影響などを調査します。

野生動物と「適切な関係を保つ」

❷野生動物の救護・野生復帰

人の影響により傷ついた野生動物を治療・保護し、自然界への復帰を助けます。

❸野生動物の保護管理

人と野生動物の適切な関係に向けて、野生動物の生息状況の調査などを実施します。

野生動物について「伝える」

❹環境教育

野生動物と人との関わりについて、学習の場を提供します。

野生生物共生センター　館内案内図

復帰訓練中の動物が観察できます。

オオタカ

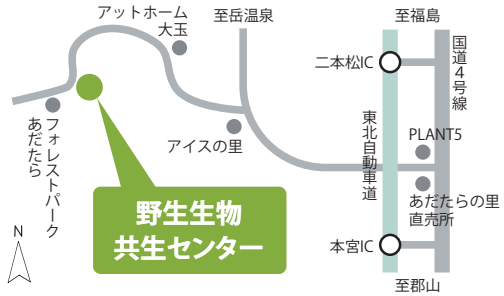
タヌキ

※動物は変更となる場合があります。休館日は観察できません。

開館情報

- ●開館時間／9:00〜17:00
- ●休 館 日／毎週月曜日（祝日の場合はその翌日）
  年末年始（12/29〜1/3）
- ●入 館 料／無料

野生生物共生センターへのアクセス



車で国道4号線「玉貫交差点」を岳温泉方面へ曲がり車で約15分です。

問い合わせ先

野生生物共生センター

安達郡大玉村玉井字長久保67　TEL 0243-24-6631　FAX 0243-48-3412

ふくしまから はじめよう。
Future From Fukushima.

福島県

野生生物共生センター

環境教育

剥製や鳥の羽の標本、復帰訓練中の動物、動物に関するＱ＆Ａなどの館内展示を通じて、野生動物について学習できます。

動物に関する学習会等を開催し、野生動物に関する意識の普及･啓発を行っています。

野生動物の救護･野生復帰

人間の活動の影響（交通事故、電線への衝突など）によって、ケガをした動物を治療し、自然界への復帰を助けます。

調査研究

放射能測定装置に検体を入れる様子

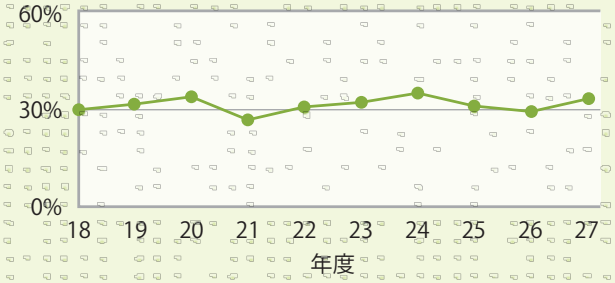
センターに搬入された野生動物について放射能の測定や感染症の調査等を実施します。

保護管理

麻酔をかけたイノシシにGPS首輪を装着させる様子

鳥インフルエンザの検査や、野生動物の出没情報の集積等を実施します。

野生復帰率



救護した個体の野生復帰率は約30%